PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2000-067560

(43)Date of publication of application: 03.03.2000

(51)Int.Cl.

G11B 23/107

(21)Application number: 10-236935

(71)Applicant : FUJI PHOTO FILM CO LTD

(22)Date of filing:

24.08.1998 (72)Inventor: TSUYUKI SEIJI

SHIGA HIDEAKI TAKAHASHI DAISUKE

(54) MAGNETIC TAPE CARTRIDGE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To exactly execute releasing operation and to lassen friction and wear by executing real rotation blocking by a blocking member which moves attachably and detachable to and from the real and restrains the real rotation, an energizing member for this blocking member and a releasing member which moves the blocking member 9 in a releasing direction by moving according to chucking operation.

SOLUTION: A revolving shaft 12 approaches the base surface of the reel 2 and a drive gear is meshed with a reel gear 24 by the chucking operation. When the reel 2 is slightly moved upward and held, the tips of the drive gear come into contact with the front ends of the leg parts 63 of the releasing member 6 and push up the releasing member. Accompanying the same, the releasing member 6 moves upward by overcoming the energizing force of the energizing member and the blocking member 4 also moves in the upward releasing direction together with the releasing member 6, thereby releasing the engagement of a blocking gear 42 and detaining projection members 27. A main body part

61 is molded of a high-rigidity resin, by which deflection deformation is

lessened and the uneven contact of the leg parts 63 with the insertion holes 26 is eliminated and the engagement is surely released. The releasing member 6 rotates and slides relative to the blocking member 4 via a sliding contact part 62 having a low friction characteristic.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2000-67560

(P2000-67560A) (43)公開日 平成12年3月3日(2000.8.3)

(51) Int.CL ⁷	微別記号	FΙ	テーヤコート* (参考
G11B 23/107		G11B 23/107	

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 5 頁)

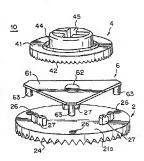
(21) 出願番号	特额平10-236935	(71)出頭人	000005201	
			富士写真フイルム株式会社	
(22)出頭日	平成10年8月24日(1998.8.24)		神奈川県南足栖市中部210番地	
		(72)発明者	露木 輸治	
			神奈川県小田原市區町2丁目12番1号	富
			士写真フイルム株式会社内	
		(72)発明者	志賞 英昭	
			神奈川県小田原市扇町2丁目12番1号	ŝ
			士写真フイルム株式会社内	
		(72)発明音	高橋 大助	
			神奈川県小田原市區町2丁目12番1号	官
			士写真フイルム株式会社内	
		(74)代理人	100073184	
			弁理士 柳田 征史 (外1名)	

(54) 【発明の名称】 磁気テープカートリッジ

(57)【要約】

【課題】 リール回転制止手段の解除部材の挑み変形を 抑制して確実な解除動作が行えると共に、制止部材と解 除部材との指動接触における摩擦及び摩託の低減を図

「解決手段」 リール2 に接種移動してその回転を拘束 する側上部材 4と、側上部材 4を側上方面に付勢する付 勢齢材 5と、ドライダ側画系動手及10チャッキング 動作に応じて移動し側上部材 4を解散方面に移動させる 解散治は 6 とを有するリール回転側上手限10で、前記解 除部材 6 の本は都6 を高削性動類材で成形すると共 に、新定側上部材 4 との指数放差部②を促揮解析性を有 するり膨材で形成し、一体に回動してなる。



(特許請求の範囲)

【請求項1】 磁気テープを巻装した単一のリールをカートリッジケース内に回転可能に収容し、使用時に前記 リールの回転を許容し、使用時に前記リールの回転を 対東するリール回転制止手段を備えた磁気テープカート リッジにおいて、

前記リール/回転制止手段は、前記リールに対して接着可能に移動してリールの回転を拘束する割止部材と、接著 止部材を制止方向に付勢する代勢部材と、前記リールと 一体に回転してドライブ側回転駆動手段のチャッキング 10 動作に応じて移動し制記別止部材を解除方向に移動させ る解除数封を全有し

前配解除部材は本体部を高剛性機能材料で成形すると共 に、前配制止部材との摂動接触部を低摩擦特性を有する 別部材で形成したことを特徴とする磁気テープカートリ ッジ。

【発明の詳細な説明】

[0001]

「発卵の属する技術分野」本契項は、磁気テープカート リッシに関し、特にカートリッジケース内に磁気テープ 20 が参数された単一のリールを包取可能に収容してなる磁 気テープカートリッジにおいて、上記リールを不使即時 に回転制止状態とするリール包転削止手段の構造に関す るものである。

[0.002]

【従来の技術】従来、コンピュータ等の外部配憶装置に 用いられる記録媒体として使用されている磁気テープカ ートリッジには、単一のリールに磁気テープを巻装し、 このリールをカートリッジケース内に回転可能に収容し たタイプのものが知られている。この磁気テープはコン 30 ピュータ等のデータ保存用として用いられ、重要な情報 が記憶されているため、テープジャミング等のトラブル が発生しないように、また保管時等の不使用時には不用 意に磁気テープが引き出されないように、上記リールの 回転を拘束するリール回転制止手段が設置されている。 【0003】上記リール回転制止手段は、リールの一部 に係合してその回転を拘束する制止部材を備え、カート リッジを外部記憶装置等のドライブに装填した際には、 上記制止部材をドライブ側回転駆動手段によるリールの チャッキング動作に応じて制止状態を解除するように設 40 けている。

[0004]

【発射が解決しようとする報題】しかして、前述のリール回転能止手段の動作の信頼性向上、カートリッジケースか、の画集の信人形止等の要求から、このリール回転制止手段の要なり一ルの回転を検索する制止部材と、この側回転駆動手段のチャッキング動作に応じて移動し前記制止部材を構造した事故とは一般が表情にあるとなる解解部材とに分離した構造に設めることが考えられる。

[0005]つまり、不使用状態においては、制止部材 によってリールが不用意に回転しないように将来して破 気テープの引き出しが行われなかようにしているが、カ ートリッジをドライブに接張して回転駆動手段によって リールのチャッチングが行われると、その動作でも楽し て解除部材が移動して前記測止部材を解除作動する。 の状態とおいてはリールは回転可能となり、確気テープ の引き出し及び手巻を数りが行える。

2

[0006] そして、上紀のような機構において、前記解除部材は高階性と低原解特性とが重求されるが、一体の機能或形品で設けるについて両者の要求を満足する樹脂材料がなく、あっても特殊で高価な材料であり、量産品には渡さない。

[0007]つまり、前法院等認材は、解除移動のための押任値面とコイルスプリングなどの付勢部材による付数にしていると、この解除動材の通免死形が大きくなってその解除動作が選挙される気がある。特にカトリッジケス人内におけるリールの配制止手架の設置スペースは狭く、付勢部材の変形量の確保及び制止部材と解除動材の参助量を確保するために、前距解除部材を開発が発生されたり、この解除密材の移動が阻害されたり、解除部材による制止部材の解除参加量が不足してリールの単止状態の解除が確果を行えなくなる可能性がある。

【0008】一方、前記解除節材はリールシー体に回転し、回転しない側に動せ、診療が回転電動して、膨胀域の労大・関策が明めていませます。 解域がの労大・関策が引き、そして、駆動域がの増大は安定した高速回転を行う上での博者となり、また摩廷校が増 物部に入り込むと、これを起えとして地速度が単端 増大する。かかる摩柱初の発生は磁気ケーブの配線回に 信着して回線再生性能の労化を招くなどの問題を有して いる。

[0009] 木純明は上記点に鑑みなされたもので、リール回転削止手段の解除部状の携み変形を抑制して確実な解験制作があると共に、制止部と「無難を対して無難を対して無難を対しる事態を使っている。 数差・ブガートリッジを提供せんとするものである。 「0010]

40 【銀運を解決するための手段】上記課題を解決した本発 明の組気テープカートリッジは、磁気テープを整点した 単一のリールをカートリッジと一人内に国际可能に収容 し、使用時に傾記リールの目転を許容し、不使用時に前 記リールの回転を削減するリール回転制止手段と構えた らのにおいて、前部リール回転制止手段は、前記リール に対して接続可能に移動してリールの回転を対策する に対した。設断止生好を他したがよって付勢する付勢が と、前記リールと一体に回転してドライブ側回転駆動手 限のチャッキング業件に広じて移る下向に加止部を発 総 方向に移動とを発酵能力とである。前記解除部样は 総 方向に移動とを発酵能力とである。前記解除部样は 本体部を高剛性樹脂材料で成形すると共に、前記制止部 材との複動接触部を低摩擦特性を有する別部材で形成し たことを特徴とするものである。 【0011】前記摺動接触部は、プロック状又はテープ

状に形成した低摩擦特性を有する別部材を前記本体部の 所定位置に一体に固着することで構成可能である。

[0012]

「発明の効果」上記のような本発明によれば、解除部材 の本体部を高剛性樹脂材料で成形すると共に、前記制止 部材との指動接触部を低摩擦特性を有する別部材で形成 10 ル2に対して接難可能に上下方向に移動する制止部材 4 したことにより、解除部材の剛性が向上してその撓み変 形が低減し、解除部材の移動が安定して行えることに伴 って制止部材を所定の移動量で確実に解除作動させるこ とができ、リール回転制止手段の動作信頼性を確保する ことができると共に、両者の指動接触部分の摩擦及び摩 **耗が低減して、駆動抵抗の減少による安定したリールの** 回転が行え、摩耗粉の発生を抑制して記録再生性能の信 趙性を確保することができ、量産にも適したものとな る。

[0013]

[発明の実施の形態]以下、図面に示す実施の形態に基 づいて本発用を詳細に説明する。図1はこの実施の形態 における磁気テープカートリッジの不使用状態における 断面図、図2は要部の分解斜視図、図3は使用状態にお ける要部断面図、図4は組込み状態の解除部材の平面図 である。

[0014] 磁気テープカートリッジ1は、単一のリー ル2に磁気テープ (図示省略) を巻装し、上ケース31

と中心部に開口32aが設けられた下ケース32とがビ ス等により締結されてなるカートリッジケース3内に、 ト記リール2を回動可能に収容して構成されている。ま た。 ト記磁気テープカートリッジ 1 は、使用時に前記リ ール2の回転を許容し、不使用時に前記リール2の回転 を拘束するリール回転制止手段10を備えている。 [0015] 前記リール2は、磁気テープが外層に巻回 される有底円筒状のリールハブ21と、このリールハブ 21の上下端外周からそれぞれ径方向に円盤状に張り出 した下フランジ部22及び上フランジ部23とからな り、リールハブ21と下フランジ部22とが合成樹脂に より一体成形され、上フランジ部23と例えば超音波溶 40 着により結合されている。上記リールハブ21は中心側 下部が底壁21aにより閉じられ、該底壁21aの下面 外層部にはリール2を回転駆動するリールギヤ24が環 状に刻酸され、このリールギヤ24より内周側にはマグ ネット式吸引用の環状金属板によるリールプレート25 が取り付けられる。そして、上記リール2のリールギヤ 24及びリールプレート25がカートリッジケース3の

底面の間口32aに碌むように配置されている。なお、

リール2は後述の付勢部材5により下方に付勢される。

転シャフト12の上端面に円環状の駆動ギヤ13とマグ ネット (図示せず) を備え、そのチャッキング動作は図 示せぬドライブ側のパケットに装填された磁気テープカ ートリッジ1が同転シャフト12に対して下降し、駆動 ギヤ13が前記リールギヤ24に鳴合すると共に、マグ ネットにより上記リールプレート25を吸引して噛合状 熊を保持する。

【0017】次に、前記リール回転制止手段10の機構 を説明する。このリール回転制止手段10は、前記リー と、該制止部材4を制止方向に付勢する付勢部材5と、 前記制止部材4を解除方向に移動させる解除部材6とを 有している。

[0018] 前記リール2の底壁21aには、前記リー ルギヤ24の部分を上下方向に貫通する3個の挿通孔2 6が円周上で等間隔に配設され、さらに、底壁21aの ト面にはト記挿道孔26と異なる位相位置に3組6個の 係止突起27が円周上で等間隔に立設され、この係止突 起27の先端部はギヤ衛形状に形成されている。なお、 20 上記挿通孔26及び係止突起27は3個或いは3組以上 配置してもよく、係止突起27の先端部は単一のギヤ歯 形状としてもよい。図2に示すリール2は、底壁21a の部分のみ切除した状態で示している。

【0019】前記制止部材4は、円盤部41が前記リー ル2のリールハブ21内にその底壁21aと対向して配 **聞され、この円録部41の下面外間部には円環状に制止** 用ギヤ42が刻設され、この制止用ギヤ42には前配係 止突起27の先端部が強合可能である。また、前記円盤 部41の下面中心部は凸面状に突出形成され、後述の解 30 除部材6の上面中心部の摺動接触部62に圧縮する。

[0020] さらに、前記制止部材4の円盤部41の上 面には突起部44が上方に延びて形成され、この突起部 4 4 には上下方向に延びる十字形状の係止溝 4 5 が設け られている。一方、カートリッジケース3の上ケース3 1の内面には上記係止渡45に捕入される回り止め姿紀 33が立設されている。そして、係止溝45と回り止め 突起33の係合で、制止部材4が回転しない状態で上下 方向に移動可能に設置されている。なお、上記係止滞4 5は一文字状に設けてもよい。

【0021】前記制止部材4の突起部44より外周側の 四條部41上面と上ケース31の回り止め突起33の外 周側内面との間にはコイルスプリングによる付勢部材5 が縮装されて、制止部材 4 を下方に制止用ギヤ 4 2 と係 止空記27とが係合する制止方向に付勢している。

【0022】また、前記解除部材6は、前記側止部材4 とリールハブ21の底壁21aとの間に上下移動可能に 介装され、略三角形状の板状本体部61の各頂点近傍下 面には上下方向に延びる円柱状の脚部63が設けられて いる。この本体部61は高剛性樹脂材料で脚部63と共 [0016]また、ドライブ側回転駆動手段11は、回 50 に一体成形される一方、その上面中心部には前配制止部 材4の下面中心部と接触する復動接触部62が低摩擦特 性を有する別部材で形成され、一体に固着されている。 【0023】上記摺動接触部材62は、図5に示すよう に、円盤ブロック状の樹脂成形品で設けられ、その上面 が前記本体部61の上面より突出した状態で、本体部6 1の凹部内に固着されている。

[0024] そして、前記解除部材6の本体部61を成 形する高剛性樹脂としては、例えば、PC(ポリカーボ ネイト)又はこれにグラスファイバーを添加したもの、 ABS機能にグラスファイバーを添加したものなどがあ 10 げられる。また、前記摺動接触部62の低摩擦特性の材 料としては、POM (ポリオキシメチレン)、ナイロン に二硫化モリブデンを添加したもの、PTFE(ポリテ トラフルオロエチレン) などがあげられる。

【0025】前紀解除部材6の各脚部63は、前記リー ル2の底壁21aに開口された挿通孔26にそれぞれ出 没移動可能に挿通され、その先端はリール2下面のリー ルギヤ24の綺部に臨んで位置する。その際、前記係止 突起27は各脚部63の間で本体部61の外側に位置す てもよい。

[0026] 前記解除部材6の最下降位置(図1)で は、脚部63の下端面はリールギヤ24の略齒先位置と なり、上記リールギヤ24にドライブ側回転駆動手段1 1のチャッキング動作により駆動ギヤ1.3が噛合するの に応じて解除部材6が押圧され所定のストローク量で押 し上げられるようになっている(図3)。また、この解 除部材6は、脚部63の挿通孔26への嵌合によりリー ル2と一体に回転する。

[0027] なお、前記リール2には、解除部材6の脚 30 部63を排通孔26に挿入する際に、解除部材6の一部 を挿入方向に案内するガイド部材28が設置されている (図4参照)。前記ガイド部材28は、前記挿通孔26 の近傍におけるリール2のリールハブ21の内壁に、前 紀解除部材6の略三角形状の本体部61の各頂部の両角 部を案内する上下方向(脚部63の挿入方向)に延びる 2つのガイドリブで形成されている。

[0028]また、図6は前記解除部材6の摺動接触部 62の他の実施形態を示し、この摺動接触部62はテー プ状に形成した低摩擦特性を有する別部材を、前記本体 40 部61の平坦な中心位置に固着してなるものである。

[0029] 前記リール回転制止手段10の作用を説明 すれば、図1は磁気テープカートリッジ1の保管状態等 の不使用時であり、この状態では、付勢部材5の付勢力 によって制止部材 4、解除部材 6 並びにリール 2 はカー トリッジケース3の下ケース32個に移動しており、下 ケース32中心部の開口32aはリール2によって開塞 される。解除部材6は下面がリールハブ21の底壁21 a 上面に当接した最下降状態にあり、その脚部63は先 端部がリールギヤ24の歯先位置に一致するように突出 50 断面拡大図

しており、解除部材6の上面に当接している制止部材4 も下降位置にあり、その制止用ギヤ42にリール2の係 止突起27の先端部が係合してリール2の不使用時にお ける回転が拘束され、磁気テープの引き出しを阻止す ã,

【0030】一方、磁気テープカートリッジ 1をドライ プに装填した図3のカートリッジ使用時は、ドライブ側 回転駆動手段11の回転シャフト12がリール2の底面 に対して接近し、チャッキング動作によって駆動ギヤ1 3がリールギヤ24に味合しリール2を若干上方に移動 させて保持すると、上記駆動ギヤ13の歯先が解除部材 6の脚部63の先端に当接してこれを押し上げる。これ に伴い、解除部材6が付勢部材5の付勢力に抗して上方 へ移動し、この解除部材6と一体に制止部材4も上方の 解除方向へ移動する。これにより制止用ギヤ42と係止 突起27の係合が解除され、リール2が回転自在とされ る。そして、記録再生装置のドライブによって磁気テー プが引き出され又は巻き取りが行われる。

【0031】上記解除状態においては、解除部材6は先 る。なお、上記脚部63は角柱状、楕円柱状等に形成し 20 端の脚部63が駆動ギヤ13によって上向きに押圧され る一方、耐止部材4を介して付勢部材5の付勢力が下向 きに作用し、本体部61の撓み変形が発生しやすいが、 この本体部61を高剛性樹脂で成形していることで撓み 変形が小さくなり、脚部63が挿通孔26に片当たりす ることなく、その出没移動が直線的に安定して行え、制 止部材 4を所期のストローク量で移動させて制止用ギヤ 41と係止突起27との係合を確実に解除できる。ま た、解除窓材6の厚みを薄くすることが可能で、移動の ストローク量を十分に確保できる。

> 【0032】一方、前記紀錄再生裝置のドライブによっ て磁気テープが引き出され又は巻き取りによってリール 2が回転すると、該リール2と一体に解除部材6は回転 するが、制止部材 4 はカートリッジケース 3 側と一体に 固定状態にあって回転せず、解除部材6はその低摩擦特 性の摺動接触部62を介して制止部材4に対して低摩擦 及び低塵魹状態で回転褶動する。これにより、リール2 の回転抵抗が低減し、耐摩耗性が高くなることで摩耗粉 の発生も低減できる。

【図面の簡単な説明】 【図1】本発明の一つの実施の形態による磁気テープカ

ートリッジの不使用状態における断面正面図 【図2】図1の磁気テープカートリッジの要部の分解料

【図3】図1の磁気テープカートリッジの使用状態にお ける要部断面図

【図4】図3において解除部材の上面と制止部材の下面 との間で切断した要部平面図

【図5】解除部材の中心部分の断面拡大図

【図6】他の実施の形態における解除部材の中心部分の

